

浪華本染め(注染)は国の
伝統的工芸品です

浪華本染め展

経済産業大臣指定伝統的工芸品



4/23(金) - 30(金)

展示・実演共に平日のみとなります

9:00 - 17:00
23日(金)は13:00から

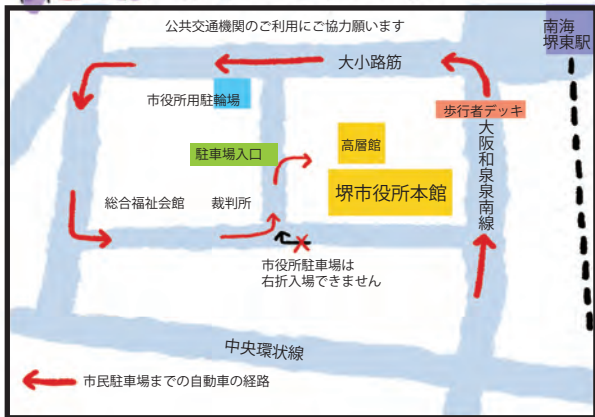
26日(月) - 30日(金) 注染実演
10:00/11:30/13:30/15:00

会場
堺市役所本館1階エントランスホール

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントは中止・延期となる場合があります



会場はコチラ
ACCESS



堺市役所本館1階エントランスホール

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
電話：072-233-1101 (代表)

電車・バスをご利用の場合

- 南海電鉄高野線
「堺東駅」下車、西出口からバスロータリーの方向に約200メートル
- 南海電鉄南海線
「堺駅」より南海シャトルバス（堺東駅前行き）約10分「堺市役所前」下車すぐ



「協同組合オリセン」は明治30年代に「多工」ぞ多高石田金四郎が中心になって、昭和22年に創設した組合です。大阪生まれの「浪華本染め」の技術・技法を受け継いでいます。

協同組合オリセン

大阪市中央区久太郎町1-8-15
電話 06-6261-0468
<https://www.osaka-orisen.com>
浪華本染めの商品をお買い物できる『おりせんSHOP』も併設しております



本展では浪華本染め（注染）の魅力を充分楽しんでいただける浴衣、職人技が光る日傘、染め難度の高い手拭いや歌舞伎や浮世絵手拭い、武蔵野美術大学の教授でもあるアーティスト高橋理子さんの創作手拭いを展示します。また、浪華本染めの歴史を感じる大正時代〜昭和の型紙や実際に使っている道具もご覧いただけます。染めの実演や、アンケートにご記入いただくと粗品のプレゼント（※もありませんのでどうぞこの機会をお見逃しなく）コロナ対策を万全にして皆様をお越しをお待ちしております。 ※1日限定100名様まで

『浪華本染め（注染）』は明治二十年ごろに大阪で開発された日本固有の染色法です。

職人の匠の技術による鮮やかな彩りと自然なぼかしが特徴で、手染ならではの奥行きと風合いが醸し出されています。防染糊を生地に置く職人を板場と呼び、染色する職人を壺人（つぼんど）と呼び、ともに十年以上の熟練が必要です。

「浪華本染め」は令和元年11月20日に経済産業大臣指定の伝統的工芸品(国の伝統的工芸品)に指定されました。

経済産業大臣指定伝統的工芸品
浪華本染め展

